

平成20年9月30日公表

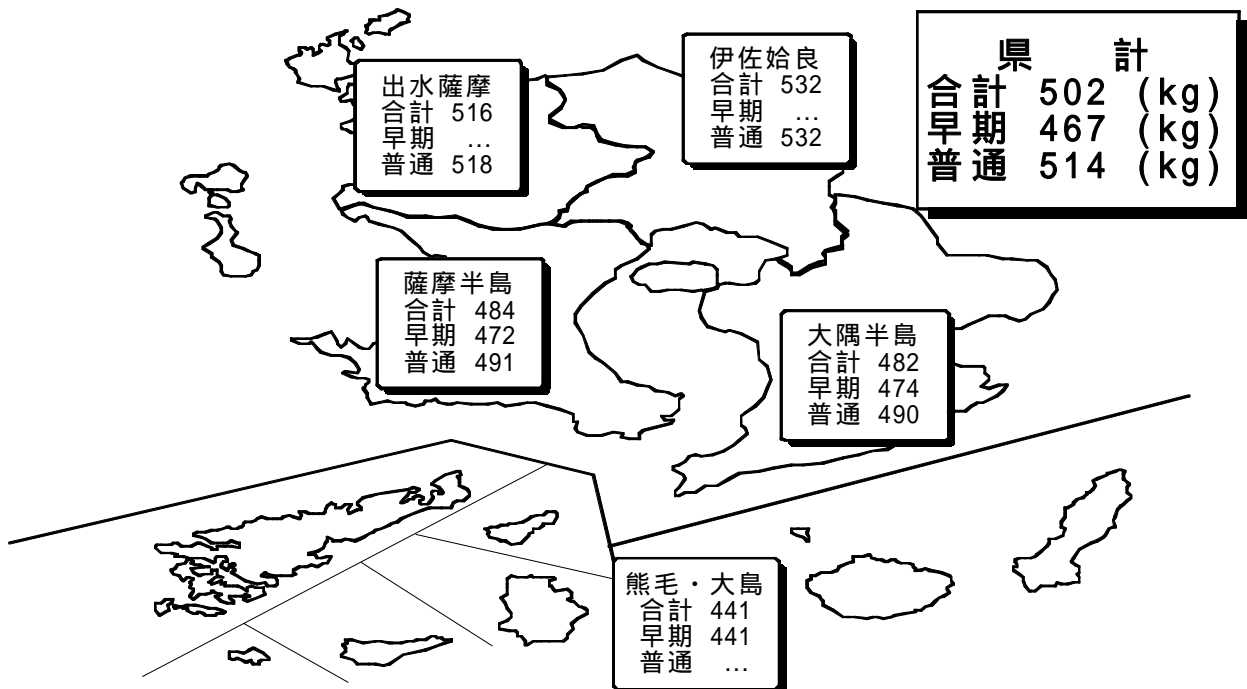
平成20年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況

水稻の作付面積は前年産に比べて1%減少の見込み
10a当たり予想収量は早期栽培が467kg、普通栽培は514kgの見込み

【調査結果の概要】

- 1 鹿児島県における平成20年産水稻の作付面積(青刈り面積を含む)は2万5,200haで、前年産に比べ200ha(1%)の減少が見込まれます。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、早期栽培は、梅雨明け以降天候に恵まれ、生育・登熟が良好となったことから、10a当たり収量は467kg(作況指数106)となり、普通栽培は、分けつ期間が天候に恵まれ、穂数がやや多く確保されたことなどから、10a当たり予想収量は514kg(作況指数104)が見込まれます。
- 3 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は12万5,000tが見込まれます。

図 水稻の作柄表示地帯別10a当たり予想収量(9月15日現在)



主食用作付見込面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む)から、生産調整カウントとなる米穀等(加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積(見込み)です。
作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率です。
この調査は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行ったものです。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

この資料は、九州農政局ホームページ鹿児島農政事務所サイトの「統計情報(鹿児島県)」でもご覧いただけます。

【「鹿児島農政事務所」 (<http://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/>)】

【 解 説 】

1 作付面積

平成20年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は2万5,200haで、前年産に比べて200ha（1%）減少しました。これは、生産者の高齢化や後継者不足によるものです。

なお、水稻作付面積（青刈り面積を含む）から、生産調整カウントとなる米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた主食用作付見込面積は、2万4,900haが見込まれます。

第1表 水稻の作付面積及び10a 当たり予想収量

| 区 分 | 作付面積 (青刈り面積を 含む) ha | 前年産との比較 | | 10 a 当たり 予想収量 kg | (参 考) | | | |
|------|------------------------------|----------|---------|------------------------|---------------------|----------------------------|------------------------|-------------------|
| | | 対差 ha | 対比 % | | 主食用作付 見込面積 ha | 予想収穫量 (主食用) = x t | 10 a 当たり 平年収量 kg | 作 況 指 数 = / |
| | | | | | | | | |
| 水稻合計 | 25 200 | 200 | 99 | 502 | 24 900 | 125 000 | 479 | 105 |
| 早期栽培 | 6 190 | 180 | 97 | 467 | ... | ... | 439 | 106 |
| 普通栽培 | 19 000 | 0 | 100 | 514 | ... | ... | 492 | 104 |

注：1 青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。

2 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む）から、加工用米及び新規需要米等の面積を除いた面積（見込み）です。

3 数値は、ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合があります。

4 表中の ... は、減少したものを示します。

2 水稻の作柄概況

(1) 早期栽培

全もみ数は、1穂当たりもみ数は平年並みに確保されたものの、穂数がやや少なかったことから、総じてやや少なくなりました。

登熟(実入り)は、全もみ数がやや少なかったことによる補償作用に加え、出穂期以降天候に恵まれ台風の影響もなく、また、病害の発生も軽微であったことから、良となりました。

被害は、一部地域で局地的な強風雨による倒伏や、カメムシの吸汁加害がみられましたが、台風の襲来もなく、いもち病、紋枯れ病等の発生が少なかったことから、平年に比べ少なくなりました。

このようなことから、10a 当たり収量は467kg（作況指数106）となりました。

(2) 普通栽培

初期生育は、7月が高温・多照の好天候で推移したことから順調で、草丈はやや長く、分けつの発生も旺盛であったため、穂数はやや多くなりました。

1穂当たりもみ数は、7月から8月上旬は高温・多照の好天候に経過したものの、8月中旬が日照不足で経過したことに加え、穂数がやや多かったことによる相互作用から、平年並みとなりました。

全もみ数は、1穂当たりもみ数は平年並みであったものの、穂数がやや多かったことから、総じてやや多くなりました。

登熟は、出穂期以降9月上旬までは概ね天候に恵まれたものの、中旬が曇雨天で経過したことから、総じて平年並みが見込まれます。

被害は、風水害や病虫害（いもち病、紋枯れ病、カメムシ、コブノメイガ等）の発生が一部地域で見られるものの被害程度は軽微で、総じてやや少なくなっています。

なお、台風第13号（9月18日～19日）が襲来し、一部地域で茎葉の損傷や倒伏被害がみられたものの、被害程度は軽微となっています。

このようなことから、10a 当たり予想収量は514kg（作況指数104）が見込まれます。

第2表 早期栽培における地帯別作柄概況（9月15日現在）

| 区 分 | 刈 取 期 | | | 穂 数 の 多 少 (平 年 比 較) | 1穂当たり もみ数の 多 少 (平 年 比 較) | 全もみ数の 多 少 (平 年 比 較) | 登 熟 の 否 良 否 | 10a当たり 予想収量 kg | (参考) | |
|------------|------------|----------|----------|--------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|----------------|----------------------|----------------------|-------------|
| | 最盛期 | 最盛期の遅速 | | | | | | | 10a当たり 平年収量 kg | 作況指数 = / |
| | | 平年 比較 | 前年 比較 | | | | | | | |
| 県平均 うち、 | 月日 8. 2 | 日 2 | 日 2 | やや少ない | 平年並み | やや少ない | 良 | 467 | 439 | 106 |
| 薩摩半島 | 8. 2 | 2 | 3 | やや少ない | 平年並み | やや少ない | 良 | 472 | 440 | 107 |
| 大隅半島 | 8. 3 | 1 | 3 | やや少ない | 平年並み | 少ない | 良 | 474 | 449 | 106 |
| 熊毛・大島 | 7. 25 | 5 | 2 | やや多い | やや少ない | 平年並み | 良 | 441 | 412 | 107 |

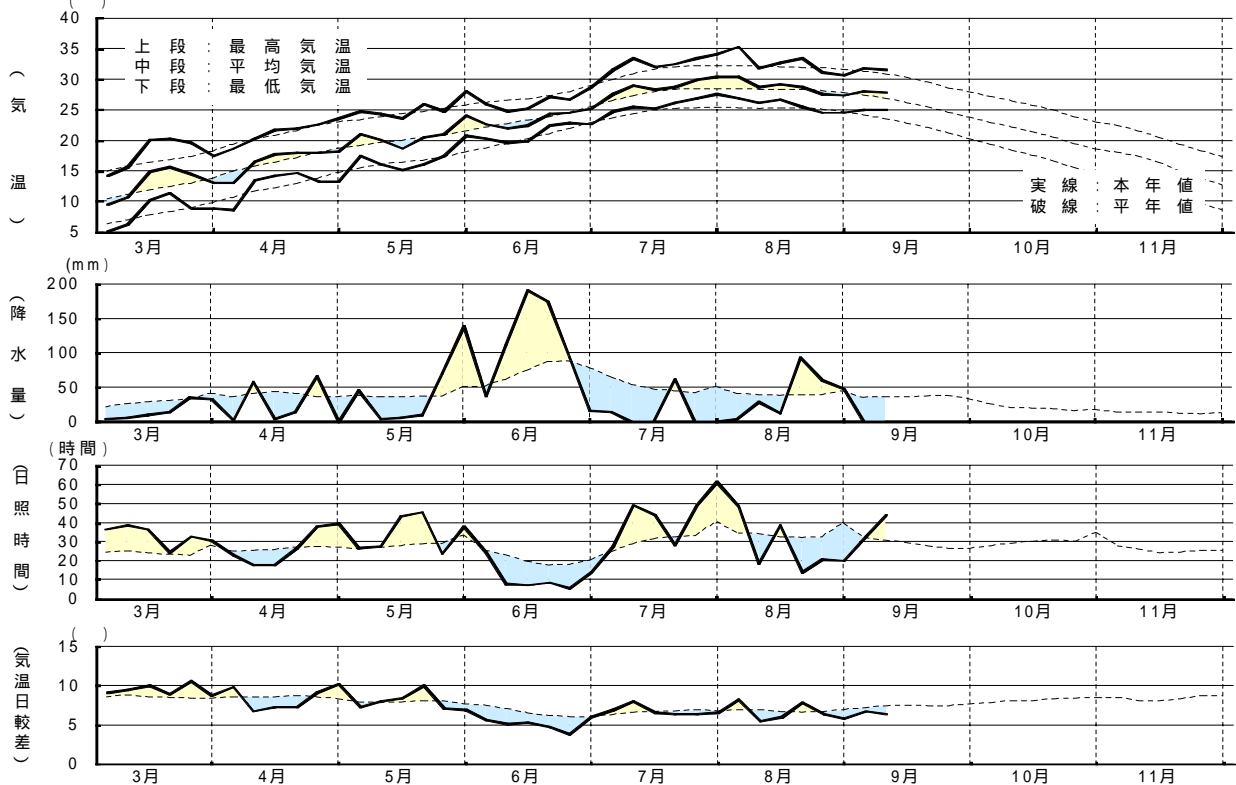
注：1 刈取り期の最盛期とは、刈取り済み面積割合が50%に達した期日です。
2 表中の「」は、平年又は前年より早いことを示します。

第3表 普通栽培における地帯別作柄概況（9月15日現在）

| 区 分 | 出 穂 期 | | | 穂 数 の 多 少 (平 年 比 較) | 1穂当たり もみ数の 多 少 (平 年 比 較) | 全もみ数の 多 少 (平 年 比 較) | 登 熟 の 否 良 否 | 10a当たり 予想収量 kg | (参考) | |
|------------|-------------|----------|----------|--------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|----------------|----------------------|----------------------|-------------|
| | 最盛期 | 最盛期の遅速 | | | | | | | 10a当たり 平年収量 kg | 作況指数 = / |
| | | 平年 比較 | 前年 比較 | | | | | | | |
| 県平均 うち、 | 月日 8. 25 | 日 1 | 日 1 | やや多い | 平年並み | やや多い | 平年並み | 514 | 492 | 104 |
| 薩摩半島 | 8. 24 | 2 | 2 | 平年並み | 平年並み | 平年並み | やや良 | 491 | 473 | 104 |
| 出水薩摩 | 8. 24 | 2 | 1 | やや多い | 平年並み | 多い | 平年並み | 518 | 491 | 105 |
| 伊佐始良 | 8. 25 | 3 | 1 | 多 少 | やや少ない | やや多い | 平年並み | 532 | 512 | 104 |
| 大隅半島 | 8. 23 | 1 | 2 | やや多い | やや少ない | 平年並み | やや良 | 490 | 471 | 104 |

注：1 出穂期の最盛期とは、出穂済み面積割合が50%に達した期日です。
2 表中の「」は、平年又は前年より早いことを示します。

(参考) 平成20年産水稻生育期間における鹿児島県の気象 観測地点：鹿児島



資料：鹿児島県地方気象台「アメダス気象データ」

【調査の仕様】

- 1 本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稲調査の中の作柄概況調査として実施し、水稲の作付面積、生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としています。
- 2 作柄概況の地帯別は、主要作付地帯(1,000ha以上)を掲載しています。
- 3 作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり(予想)収量の比率です。
- 4 青刈りとは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料用などとして用いられるものです。
なお、青刈りには、稲発酵粗飼料(ホールクロップサイレージ) わら専用稲等を含みます。
- 5 第2表、3表において、「穂数の多少」「1穂あたりもみ数の多少」「全もみ数の多少」「登熟の良否」で用いた表示区分は、各指標の平年値に対する比率を次のとおりの区分で表したものです。

| 多 少 (良否) | 少 ない (不良) | やや 少ない (やや不良) | 平 年 並 み | やや 多い (やや良) | 多 い (良) |
|----------------|-----------------|---------------------|------------------|-------------------|---------------|
| 対平年比 | 94%以下 | 95～98% | 99～101% | 102～105% | 106%以上 |

- 6 本速報で用いた地帯区分は、次のとおりです。
 - 薩摩半島 - 鹿児島市、枕崎市、いちき串木野市、指宿市、南さつま市
日置市、南九州市、鹿児島郡
 - 出水薩摩 - 薩摩川内市、阿久根市、出水市、薩摩郡、出水郡
 - 伊佐始良 - 大口市、霧島市、伊佐郡、始良郡
 - 大隅半島 - 鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、曾於郡、肝属郡
 - 熊毛・大島 - 西之表市、奄美市、熊毛郡、大島郡

7 利用上の注意

本調査(9月15日現在)は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行っています。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

【関連リンク】

- 農林水産政策関連ページ <http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>
- 食料政策関係ページ <http://www.maff.go.jp/j/soushoku/>
- 農業生産振興関係ページ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局鹿児島農政事務所統計部
生産流通消費統計課 生産統計係

電話：(直通) 099(222)7546

FAX：099(224)1501

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局鹿児島農政事務所統計部
統計企画課 企画・分析係

電話：(直通) 099(222)7523

FAX：099(224)1501



10月18日は統計の日 「こつこつと調べてわかる 日本の姿」